

その他の設定オプションについて

システム管理者は必要に応じて、特別なサービスや機能のほかに、特別なソフトキーのテンプレートを
 使用するよう電話機を設定できます。次の表は、設定オプションの概要について説明しています。
 コールの需要や作業環境に応じたオプションの設定について、電話機のシステム管理者と相談する
 ときに役立ちます。



(注) この表に記載されているユーザガイドとその他のマニュアルについては、次の URL から入手
 できます。 http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/products_user_guide_list.html

目的または状態	必要な操作または状態の説明	参照先または問い合わせ先
回線が処理できるコール数を増やす必要がある	回線がサポートするコール数を増やすように、システム管理者に設定を依頼します。	システム管理者または電話機のサポート チームにお問い合わせください。
電話回線が1本では足りない	追加の電話番号の設定をシステム管理者に依頼します。	システム管理者または電話機のサポート チームにお問い合わせください。
電話機が呼び出し中または使用中のときに別のソフトキー（[即転送] など）を表示する必要がある	新しいソフトキー テンプレートを設定してユーザの電話機に割り当てるようシステム管理者に依頼します。	システム管理者または電話機のサポート チームにお問い合わせください。
短縮ダイヤル番号が足りない	現在使用可能な短縮ダイヤル番号をすべて使用していることを確認してください。 追加の短縮ダイヤル ボタンが必要な場合は、固定短縮ダイヤル機能の使用またはファースト ダイヤル サービスへの登録を検討してください。	P.117 の「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」を参照してください。

目的または状態	必要な操作または状態の説明	参照先または問い合わせ先
1 つの電話番号を複数の電話機で使用する	共有回線が必要です。共有回線を使用することで、たとえば1つの番号をデスクの電話機と無線 IP Phone で使用することができます。	P.74 の「共有回線の使用」 を参照してください。
電話機やオフィススペースを同僚と共有している	<p>次の機能の導入を検討してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • コールパーク: 転送機能を使用せずにコールを保存、および取得できます。 • コールピックアップ: 別の電話機で鳴っているコールに応答できます。 • 共有回線: 同僚のコールを表示またはそれに参加できます。 • Cisco エクステンションモビリティ: 自分の電話番号とユーザプロフィールを共有の電話機に適用できます。 	<p>これらの機能については、システム管理者にお問い合わせください。また、次の説明を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 不審なコールのトレース (P.80) • 共有回線の使用 (P.74) • Cisco エクステンションモビリティの使用方法 (P.83)
頻繁にコールに応答する、または他の人の代理でコールを処理する	電話機の自動応答機能を設定するように、システム管理者に依頼します。	P.90 の「自動応答の使用」 を参照してください。
電話機の短縮ダイヤル、履歴、またはディレクトリのリストと関連付けられた電話回線の状態を判断する	電話機の Busy Lamp Field (BLF; ビジーランプフィールド) を設定するように、管理者に依頼します。	P.77 の「BLF の使用による回線状態の確認」 を参照してください。
自分の電話番号と設定を共有の Cisco Unified IP Phone に一時的に適用する	Cisco エクステンションモビリティサービスについて、システム管理者にお問い合わせください。	P.83 の「Cisco エクステンションモビリティの使用方法」 を参照してください。
同じ共有回線を持つすべての電話機で、共有回線でのコール情報の表示やコールの参加を許可または禁止する	電話機のプライバシー機能を設定するように、システム管理者に依頼します。	P.76 の「他者による共有回線のコールの表示および参加の防止」 を参照してください。